

平成21年度決算(案) 説明資料

平成22年5月27日
明治安田生命保険相互会社

契約業績のポイント

○ 保険料等収入の状況

(単位：億円)

	平成21年度		平成20年度
		前年度比	
保険料等収入	32,824	22.2%	26,865
うち個人保険・個人年金保険	22,407	33.1%	16,833
うち団体保険・団体年金保険	9,936	4.3%	9,528

○ 新契約の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成21年度		平成20年度
		前年度比	
新契約年換算保険料	1,880	65.3%	1,137

○ 保有契約の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成21年度末		平成20年度末
		前年度末比	
保有契約年換算保険料	17,446	2.9%	16,950

《ご参考》

・ 銀行窓販の状況（保険料等収入）

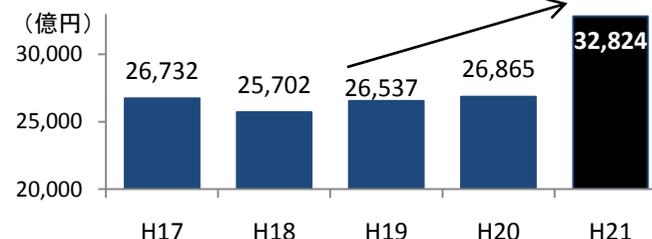
(単位：億円)

	平成21年度		平成20年度
		前年度比	
保険料等収入	8,007	260.5%	2,221

保険料等収入

3年連続増収

3兆2,824億円 (前年度比22.2%増加)



◇ 個人保険・個人年金保険 **2兆2,407億円**
(前年度比33.1%増加)

年換算保険料

◇ 新契約年換算保険料 **1,880億円**
(前年度比65.3%増加)

◇ 保有契約年換算保険料 **1兆7,446億円**
平成20年度末を底に増加に反転

銀行窓販の状況 (保険料等収入)

8,007億円 (前年度比260.5%増加)

- ◇ お客さまの安定志向を反映
- ◇ 一時払終身保険や定額年金保険が中心

収益性指標および社員配当の状況

○ 基礎利益

(単位：億円)

	平成21年度		平成20年度
		前年度比	
基礎利益	2,914	△11.5%	3,293
逆ざや	△590	前年の85.8%水準に縮小	△688
費差	569	△20.8%	719
危険差	2,935	△10.0%	3,262

(注) 平成21年度より、危険差および費差の算出を一部変更しています。基礎利益および逆ざやについては、変更ありません。

《ご参考》平均予定利率

(単位：%)

	平成21年度		平成20年度
		前年度差	
平均予定利率	2.48	△0.13 ^{ポイント}	2.61

○ 平成21年度決算(案)に基づく社員配当の状況

【個人保険・個人年金保険】

○ 費差配当、危険差配当、特別配当

… 保険収支の状況等を勘案し、配当率を据置き

○ 利差配当

… 平成20年度の金融危機の影響により、株式配当収入が減少基調であったことから、一部のご契約について配当率を引き下げ

【団体年金保険】

… キャピタルゲインも含めた運用実績を每期直接的に還元している配当方式であり、株価の回復を受け、利差配当を復配

【団体保険・その他の保険】

… 保険収支の状況等を勘案し、配当率を据置き

基礎利益

2,914億円

- ◇ 逆ざやは、計画どおり平成21年度末で追加責任準備金の積立てを完了し、前年度差97億円の改善
- ◇ 負債コストである平均予定利率は、着実に低下
- ◇ 銀行窓販の大幅伸展に伴う手数料や、営業職員制度改正に伴う事業費の増加

健全性指標①

○ ソルベンシー・マージン比率

(単位：億円、%)

	平成21年度末		平成20年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,187.5	88.8 ^{ポイント}	1,098.7
ソルベンシー・マージン総額 (A)	34,212	5,505	28,706
リスクの合計額 (B)	5,762	536	5,225

(注) ソルベンシー・マージン比率 = (A) / (1/2 × (B)) × 100

ソルベンシー・マージン比率

1, 187. 5%
 (前年度末差 88. 8ポイント上昇)
 ◇ 1, 100%を超える水準を確保

○ 実質純資産額

(単位：億円、%)

	平成21年度末		平成20年度末
		前年度末差	
実質純資産額	35,006	5,970	29,035
一般勘定資産に対する比率	14.3	1.9 ^{ポイント}	12.4

実質純資産額

3兆5, 006億円
 ◇ 一般勘定資産に対する比率は14. 3%
 (前年度末差1. 9ポイント上昇)

○ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	平成21年度末		平成20年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	14,800	4,988	9,812
うち時価のある有価証券 ^(注)	12,049	6,648	5,400
うち公社債	2,393	△168	2,562
うち株式	9,596	6,145	3,450
うち外国証券	3	602	△598

(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

含み損益 (一般勘定資産全体)

1兆4, 800億円
 (前年度末差4, 988億円増加)
 ◇ 株価回復等運用環境の改善を受け、
 含み益は大幅に増加
 ◇ うち時価のある有価証券については
 12, 049億円
 (前年度末差6, 648億円増加)

健全性指標②

○ 国内株式含み損益ゼロ水準

	平成21年度末	平成20年度末
仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合		
日経平均株価ベース	7,100円程度	6,600円程度
TOPIXベース	620ポイント程度	640ポイント程度
株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合		
日経平均株価ベース	6,900円程度	6,400円程度
TOPIXベース	610ポイント程度	620ポイント程度

○ リスク管理債権額

(単位：億円、%)

	平成21年度末		平成20年度末
		前年度末差	
リスク管理債権額	299	△2	302
貸付残高に対する比率	0.55	0.04	0.50

《ご参考》さまざまなリスクに対応するための内部留保等

(単位：億円)

	平成21年度末		平成20年度末
		前年度末差	
内部留保等	12,052	450	11,602
うち基金・基金償却積立金 ^(注1) ^(注2)	4,700	600	4,100
うち基金償却準備金 ^(注1)	—	△450	450
うち価格変動積立金 ^(注1)	297	—	297
うち危険準備金	4,734	151	4,583
うち価格変動準備金	1,849	74	1,775
内部留保等+追加責任準備金	17,914	1,438	16,475

(注1) 基金償却後、剰余金処分後の数値です。

(注2) 平成21年度末の金額は、平成18年度募集の基金償却(600億円)、平成22年7月の基金募集(600億円：総代会決議および当局認可の取得が前提)を反映させた数値です。

国内株式含み損益ゼロ水準
(日経平均株価ベース)

- ・ 仮に当社ポートフォリオが日経平均株価にフル連動するとした場合
7,100円程度
- ・ 株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合
6,900円程度

明治安田チャレンジプログラムの進捗状況

○ 解約・失効の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円、%）

	平成21年度		平成20年度
		前年度比（差）	
解約・失効率	6.08	△0.39ポイント	6.48
解約・失効高	71,304	△13.2%	82,127
解約・失効年換算保険料	835	△9.0%	917

○ 総合継続率の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：%）

	平成21年度		平成20年度
		前年度差	
13月目総合継続率	92.0	2.4ポイント	89.6
25月目総合継続率	80.4	3.5ポイント	76.9

（注）総合継続率は、契約高ベースにて算出しています。

クオリティ指標

解約・失効率

前年度差0.39ポイント改善

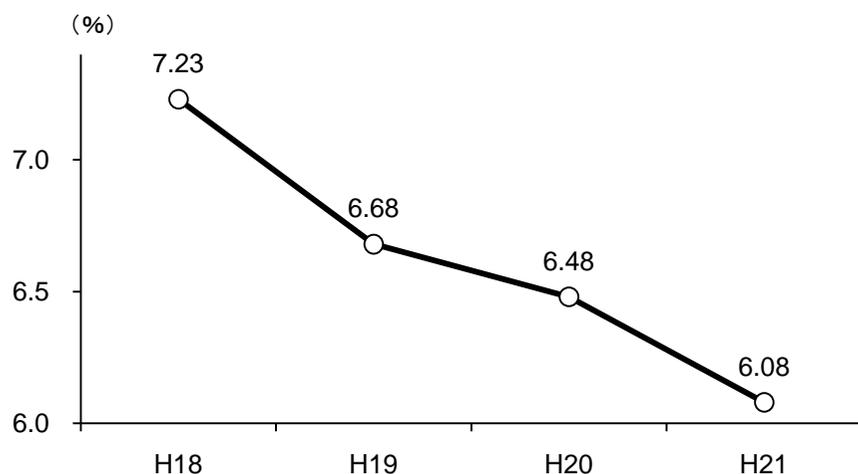
総合継続率

13月目…2.4ポイント改善

25月目…3.5ポイント改善

◇ クオリティ重視運営と安心サービス活動を通じた定期訪問を継続推進し、クオリティは着実に改善

・解約・失効率の推移



・総合継続率の推移

